



ELITE SCREENS

電動壁掛け／天吊りプロジェクタースクリーン セイカーシリーズ (Saker Series) ユーザーガイド

重要:安全に使用するための注意事項

ご使用前に、このユーザーガイドをご一読ください。正しく使用することで長くお使いいただけます。

警告 スクリーンの出荷時、スクリーン の下降位置は最大の長さに調節されています。ローラーには余分なブラックマスク部分がありません。限度を超えて調整しようとすると、モーターにダメージを与え、製品の保証が無効となるため、ご注意ください。製品に対する非認定の改造または修理(配線のための電源コードの切断は除く)は禁止されており、メーカーの保証が受けられなくなります。製品に関するご質問は、エリートスクリーンジャパンまでお問い合わせください。

- 必要な場合に備えて、本書を保存してください。
- 製品の損傷を避けるため、メーカーが指定した付属品を使用してください。
- 運搬の際は、注意して取り扱ってください。
- 装置に電源を供給する電源コンセントは、できるだけ近い場所を選んでください。
- 起伏や段差のある場所、傾いた場所に製品を置かないでください。
- 電源コードの上に重い物を置かないでください。また電源コードは、人がつまずいたりしないように、適切に配線してください。
- 感電や火災を避けるため、電源コードに過剰な電流を流さないでください。
- 製品の内部には、お客様で整備や修理をすべき部品はありません。指定された技術者以外はカバーを外さないでください。
- 電源は連続的に供給されるようにしてください。
- 延長コードを使用する必要がある場合は、正しい規格(日本国内は 100V)のものをご使用ください。
- 手が濡れている状態や、体の一部が水に触れた状態で電源コードを触らないでください。
- 強風・豪雨や雷などの極端な悪天候が予想される場合にはコンセントを抜いてください。
- 直射日光・雨・湿気が当たらないようにしてください。
- 製品が加熱されないよう、火の近くや高温となる場所を避けて設置してください。
- 製品を移動させる場合やメンテナンスの際には、電源コードを抜いてください。
- 製品を長期間使用しない場合、他の家電製品と同様、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ケガや感電の可能性があるので、製品が明らかに損傷している場合や部品が故障している場合は、製品の使用を中止してください。

注意:

本装置は、テストの結果、米国 FCC 規定の第 15 条に準拠した、クラス B デジタルデバイスの制限を満たしていることが確認されています。

クラス B の制限は、装置を住宅地域に設置して使用した場合に、有害な電波障害が発生しないことを目的に定められています。本装置は無線通信周波数の電波を生成し放出するため、使用説明書に沿わない設置方法や使い方をすると、無線通信の障害になる可能性があります。

なお、特定の設置方法によって、電波障害が発生しないという保証はありません。装置がラジオやテレビの受信に有害な電波障害を発生させるかどうかは、装置の電源をオン・オフすることで判定できるので、以下の方法をお試しください。

- ✓ 影響を受けている可能性のある受信アンテナの場所や方向を調整する。
- ✓ 本装置と受信装置の距離を離す。
- ✓ 受信装置が使用しているコンセントと別のコンセントを使用する。

設置の準備

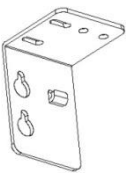

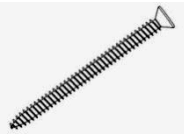
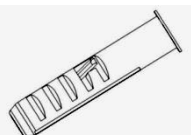
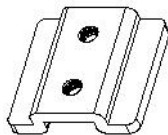
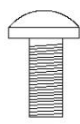
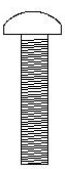


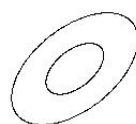

1. スクリーンは、注意して開梱してください。
2. スクリーンは、清潔で平らな場所に設置してください。
3. スクリーンの表面が汚れないよう、ホコリ、筆記用具、液体などに触れないようにしてください。

注意

スクリーンは確実に固定する必要があります。間違えてスクリーンに力を加えてしまった場合や振動で、ケースの取り付けが緩んだり落ちたりしないように、取り付ける場所に合った適切な強さでネジを確実に締めてください。

取付用の部品 (スクリーンに同梱)

スクリーンの設置を開始する前に、すべてのパーツが揃っていることをご確認ください。

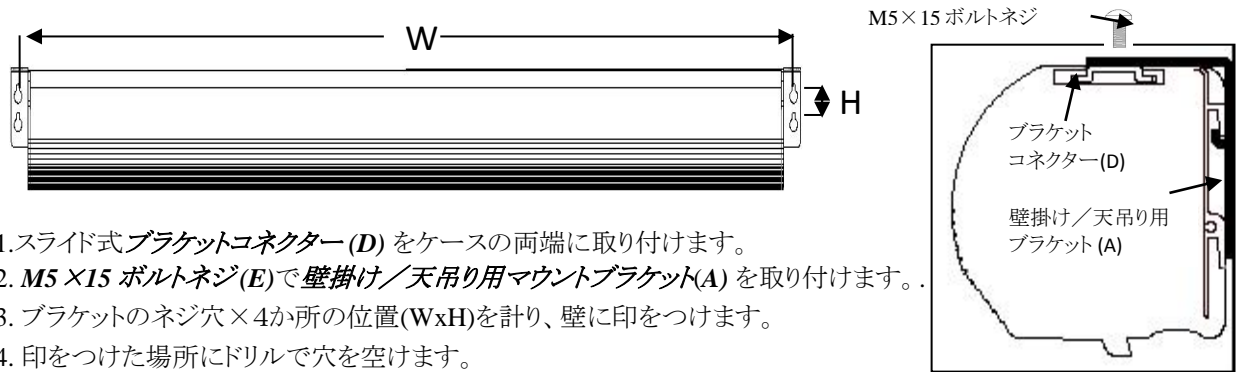
A. 壁掛け/天吊り用 マウントブラケット×2		B. M4×50 ネジ ×4	C. M10 アンカー ×4	D. ブラケット コネクター×2	E. M5×15 ボルトネジ×4
 135 インチ未満	 135~180 インチ				
F. M5×25MM 丸頭 プラスネジ×2	G. M5×30MM アイボ ルト & M5 ナット ×2	H. 背面用ブラケット ×2	I. R18×R6×1 ワッシャー×4	J. スナップリンク ×2	
					

設置手順

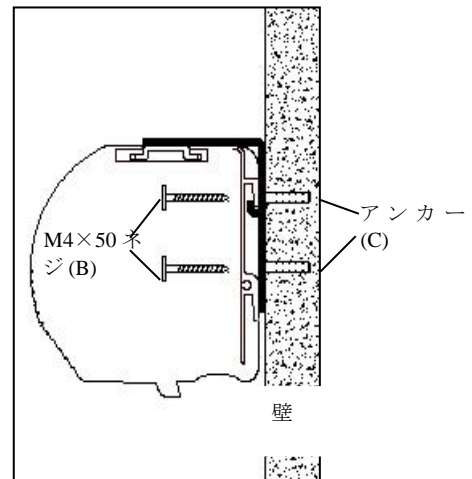
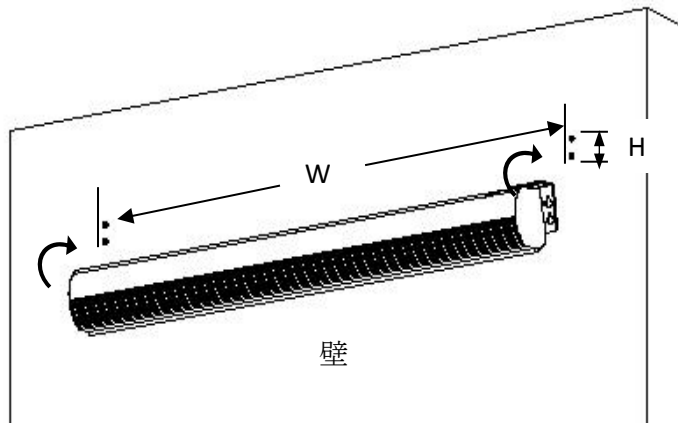
スクリーンの設置については専門の業者に相談してください。誤った設置方法により生じた損害に対しエリートスクリーンは責任を負いかねます。

A. 壁への取り付け

I. 壁掛け／天吊りブラケットを使用したフラッシュマウント(固定位置)

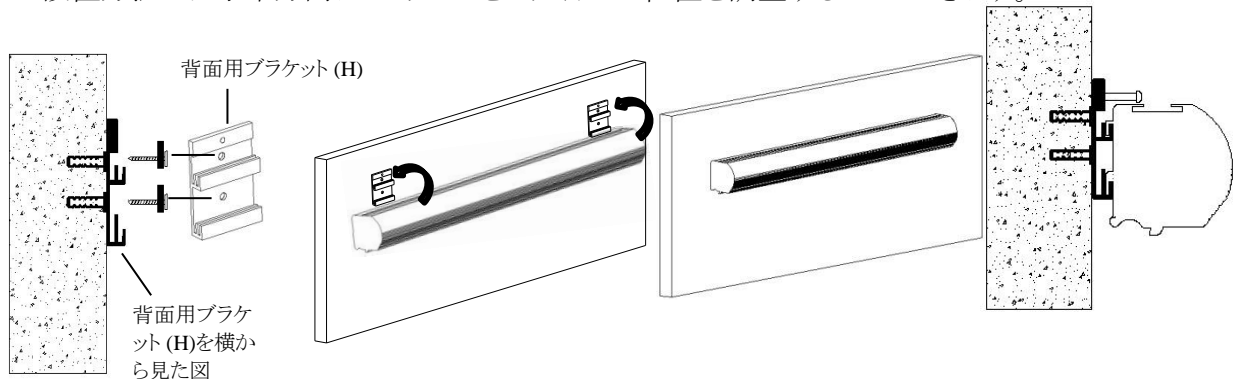


1. スライド式ブラケットコネクタ(D)をケースの両端に取り付けます。
2. M5×15 ボルトネジ(E)で壁掛け／天吊り用マウントブラケット(A)を取り付けます。
3. ブラケットのネジ穴×4か所の位置(W×H)を計り、壁に印をつけます。
4. 印をつけた場所にドリルで穴を開けます。
5. アンカー(C)を壁に打ち込みます。
6. ネジの頭を3ミリほど出して、M4×50 ネジ(B) inを各アンカー(C)に取り付けます。
7. スクリーン側のブラケットのネジ穴を利用してスクリーンを壁のM4×50 ネジ(B)へ取り付けます。



II. 背面用ブラケットを使用したフラッシュマウント(左右に移動可能)

この設置方法では水平方向にスクリーンをスライドして位置を調整することができます。

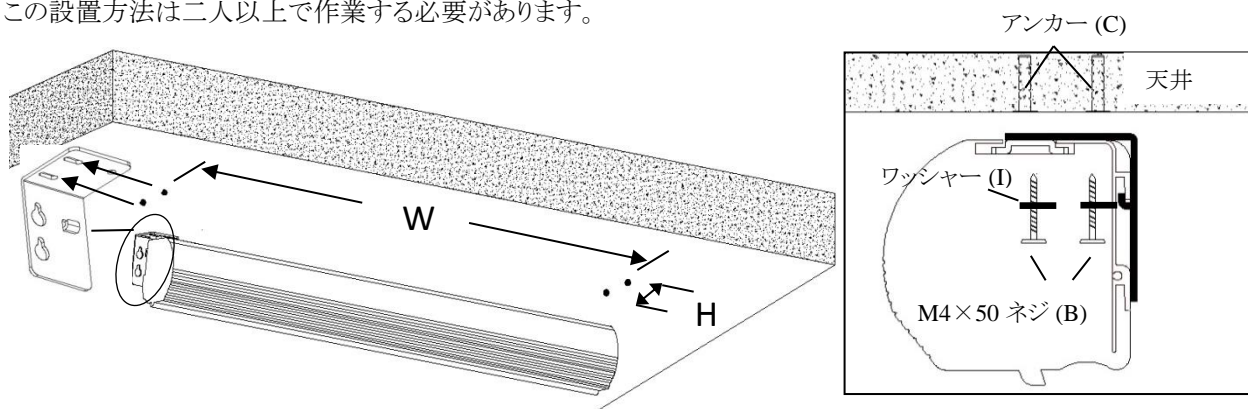


1. スクリーンを取り付ける壁の位置を決め、各背面用ブラケット(H)の穴の場所に印を付けます。
2. 印をつけた場所にドリルで穴を開け、アンカー(C)、M4×50 ネジ(B)、およびワッシャー(I)を使用してブラケットを取り付けます。各ブラケットが水平に並ぶように取り付けてください。
3. ケース背面にある溝を使用して、ブラケットに差し込むようにスクリーンを取り付けます。
4. スクリーンが確実に差し込まれていることを確認したうえで、左右にスライドさせて位置を調整します。
5. 最後に、ケースが動かないよう、右の図のようにM5 ネジ(F)を使用して固定します。

B. 天井への取り付け

I. 天井へのフラッシュマウント

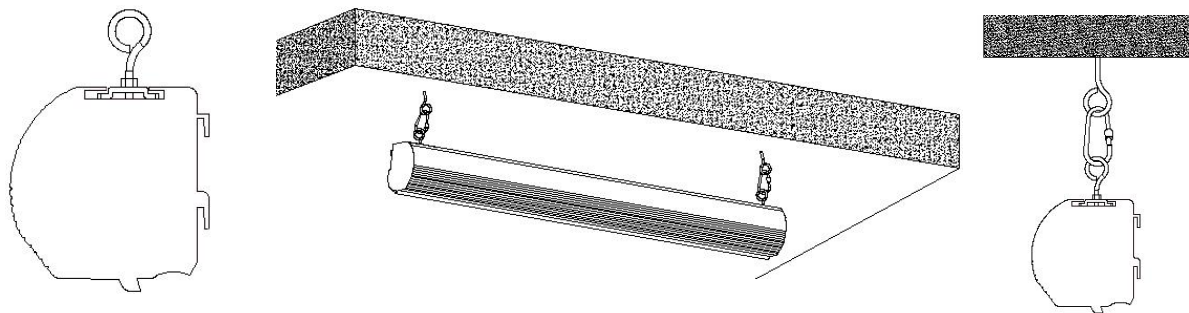
この設置方法は二人以上で作業する必要があります。



1. スライド式の**ブラケットコネクター(D)**をケースの両端に取り付け、**M5×15 ボルトネジ(E)**を使用して、**壁掛け／天吊り用マウントブラケット(A)**を取り付けます。
2. 壁掛け／天吊り用マウントブラケット(A)のネジ穴の位置(W×H)を計測し、取り付ける位置に印をつけます。
3. 印をつけた場所にドリルで穴を空け、**アンカー(C)**を打ち込みます。
4. **M4×50 ネジ(B)**、および**ワッシャー(I)**を使用して**壁掛け／天吊り用マウントブラケット(A)**を取り付けます。

II. 天井への吊り下げ

1. スライド式の**ブラケットコネクター(D)**をケースの両端に取り付け、さらに**アイボルト(G)**を取り付けます。
2. **スナップリンク(J)**を**アイボルト(G)**に接続し、スクリーンの重量に合ったアイボルトネジ(付属していません)を使用して天井に吊り下げます。



付属品

A. 赤外線(IR)リモコン	B. ラジオ周波(RF)リモコン	C. 壁用スイッチボックス	D. 5-12Vトリガケーブル
E. 延長用赤外線レシーバー	F. ワイヤレス制御用 5-12Vトリガケーブル	G. バッテリー	H. 水準器

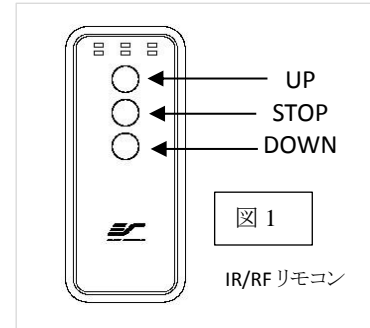
スクリーンの制御方法

コンセント:スクリーンの制御には 100V、110V、または 220V の電源が必要です(日本国向け仕様は 100V)。

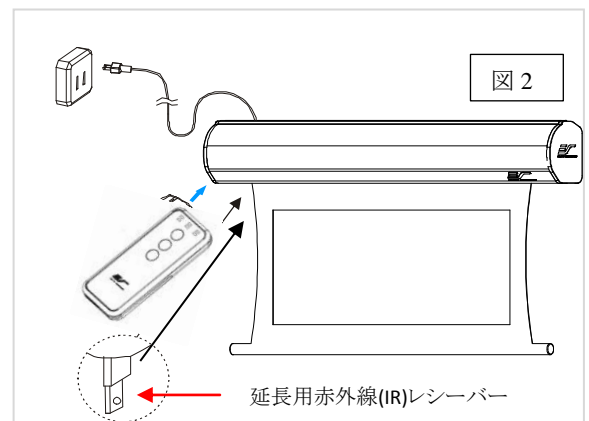
1. スクリーンの電源コードをコンセントに差し込みます。
2. スクリーンに電源が供給されている間、以下の 6 種類の方法で制御が可能です。

6 種類の制御方法

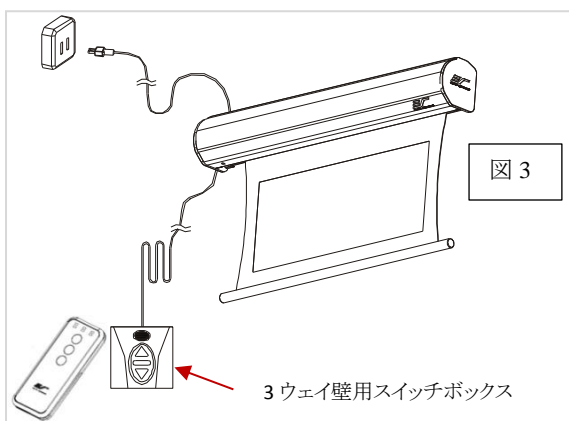
1. **赤外線(IR)リモコン**(付属品 A、図 1): 赤外線リモコンを使用すると、4.5m 以内の距離で、スクリーンが直接見える場所から制御することができます。スクリーンの左側にある赤外線受信部にリモコンを向けて操作します。



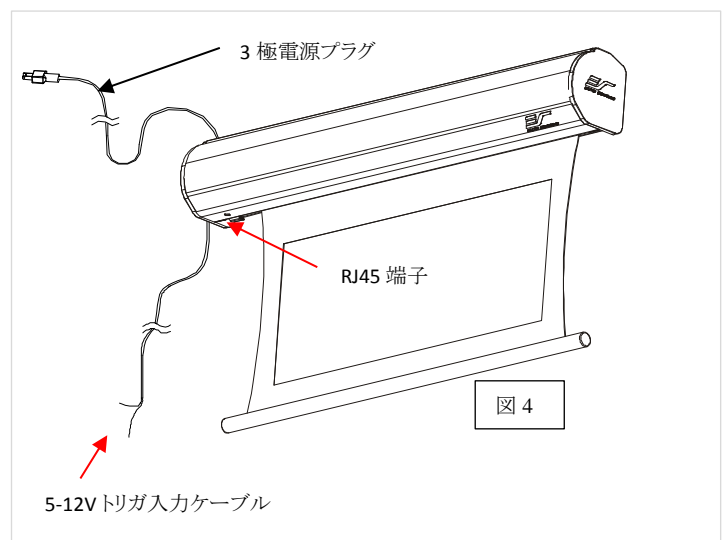
2. **延長用赤外線(IR)レシーバー**(付属品 E、図 2): 延長用赤外線(IR)レシーバーをスクリーンの RJ-45 端子に接続できます。スクリーンを垂れ壁などの陰に隠れた位置に設置する場合でも、受信部(レシーバー)だけに見える位置に出しておき、赤外線リモコンを向けて制御することができます。



3. **3ウェイ壁用スイッチボックス**(付属品 C、図 3): スクリーンの RJ-45 端子に接続すると、スクリーンを有線で制御できます(ボックスに赤外線受信部はありません)。



5. **5-12Vトリガ入力**(付属品 D、図 4): 5/12Vトリガ入力を使用すると、スクリーンをプロジェクターの電源に連動して昇降させることができます。スクリーンはプロジェクターの電源がオンとなったときに降下し、プロジェクター電源がオフとなったときに上昇します。5/12V トリガ入力のためのケーブルはプロジェクター装置に付属されている場合と別売の場合があります。5/12V トリガ入力をプロジェクターに接続してもうまく作動しない場合は、9V 電池を使用し、赤(+)と緑(-)のケーブルを接続してテストしてください。



6.ワイヤレス制御用 5-12V トリガケーブル(付属品 F、図 5): 付属のラジオ周波(RF)リモコンは、通常のリモコン操作の他に、プロジェクターとのワイヤレスでの電源連動の目的で使用できます。この方法で制御する場合、リモコンにワイヤレス制御用 5-12V トリガケーブルを接続します。ラジオ周波の信号により、プロジェクターの電源操作に合わせてスクリーンを昇降させることができます。

ワイヤレス制御用 5-12V トリガケーブルを使用した連動方法

Step1: ラジオ周波リモコンにトリガケーブルを接続します(3.5mm プラグ側)

Step 2: トリガケーブルのもう一方のプラグをプロジェクターの 5-12V トリガ出力端子に接続します

Step 3: スクリーンの電源コードをコンセントから抜いておきます

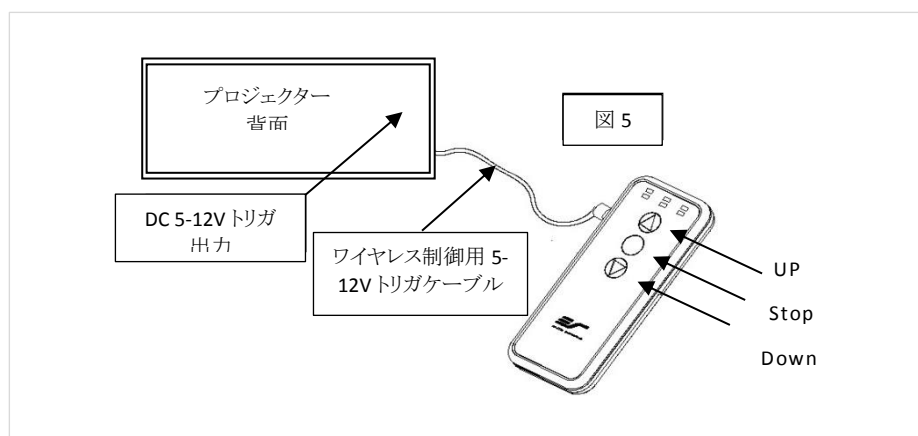
Step 4: ラジオ周波リモコンの **UP** ボタンを押します

Step 5: **UP** ボタンを押したままの状態電源コードをコンセントに差し込みます

Step 6: 5 秒待ってから **UP** ボタンを離します

Step 7: プロジェクターの電源を操作して、5-12V ワイヤレストリガ機能が有効になっていることを確認します
うまく動作しない場合は上記の手順を再度試してください。

プロジェクターの電源のオン・オフは、20～30 秒以上の間隔をあけて操作する必要があります。



製品に関するご質問は、エリートスクリーンジャパンまでお問い合わせください。

www.elitescreens.jp